

維新ふるさと館だより vol. 2

〒892-0846 鹿児島市加治屋町23番1号
 TEL 099-239-7700 FAX 099-239-7800
 H P <http://www.ishinfurusatokan.info>

秋篠宮さまご来館！

公務のため鹿児島を訪問された秋篠宮さまが、10月25日(水)、ご視察のため当館へご来館されました。

館内をほぼ一巡し、幕末探訪・郷中教育のコーナーや国旗・国歌の起原が鹿児島にあったことを解説したコーナーなどに特に興味を示されました。明治維新など歴史にはとても詳しいご様子で、大変興味深くご見学されました。

10/26 南日本新聞写真



秋篠宮さま「維新ふるさと館」訪問

お正月イベントのご案内

— 西郷さん生誕180年 —

そっくり西郷さんと遊ぼう！！

平成19年 1月 1日(月) ~ 1月 3日(水)

場所：維新ふるさと館(地下1階 維新体感ホール)

じゃんけん大会

・ 10:30 ~ ・ 11:15 ~ ・ 13:30 ~ ・ 14:20 ~

クイズ大会

・ 9:40 ~ ・ 15:00 ~ ・ 16:00 ~



そっくり西郷さんと、じゃんけん大会や歴史にまつわるクイズ大会など、楽しい催しものを企画しております！

景品として鹿児島の特産品もご用意しております。

西郷さんと一緒に記念撮影もできますよ！

ぜひ、維新ふるさと館で、西郷さんと一緒に楽しいお正月を過ごしませんか？！



秋の歴史講演会を開催しました

10月21日(土)・28日(土)・11月4日(土)の3回にわたり歴史講演会を実施し、たくさんの方にお越しいただきました。



「天璋院篤姫
 ~徳川家と島津家の
 女性たち~」
 尚古集成館
 館長 田村省三氏

「薩摩の心とかごしま弁」
 鹿児島大学法文学部長
 木部暢子氏



「幻の古代ぶえ・薩摩「天吹」」
 鹿児島民具学会監事 北村廣隆氏

歴史講座を開催しました

9月23日(土)・24日(日)、「西南戦争と鹿児島決戦」と題し、歴史講座を実施しました。定員の約2倍のお申し込みがあり、みなさん大変熱心に受講され、大好評のなか開催されました。



講師：維新ふるさと館
 歴史解説員 福田賢治

次回講座のご案内

「天璋院篤姫と大奥の世界」

日時：平成19年1月27日(土) 9:30 ~ 12:00
 平成19年1月28日(日) 9:30 ~ 12:00
 (27日または28日のいずれかを選択)

対象：成人

定員：各30名(定員を超えたら抽選)

場所：維新ふるさと館 多目的ルーム

申込み：氏名、住所、電話番号、受講希望日を
 1月16日までに維新ふるさと館へ

11月、吉野中学校の生徒さんが3日間、職場体験学習で、実際に接客や事務作業など様々な仕事を体験されました。



2年生 鹿島 裕作 君
 楠田 晃浩 君

展示について紹介

～国旗・国歌のルーツは鹿児島！～

日本最初の君が代を再現！！



明治2年、薩摩藩はいち早く軍楽隊を組織し、英国軍楽隊長ウイリアム・フェントンのもとで洋楽を学びました。そのとき日本には国歌がなかったため、「歌詞があれば作曲しよう」と問いかげられ、大山巖らが薩摩琵琶曲「蓬萊山」から君が代の一節を選び、フェントンが曲をつけ、明治3年明治天皇の御前で薩摩藩軍楽隊によって初演されました。

フェントン作曲、当初の「君が代」が聴けます！！



島津家28代当主斉彬は、日本の船と外国の船を区別するために、白地に朱の「日の丸」を日本の船印とすることを提案し、水戸藩の徳川斉昭がこのデザインを支持したこともあり、安政元年(1854)幕府は「日の丸」を日本の船の総船印に採用。明治3年、日本郵船商船規則の中に規定され、国旗としての機能を果たすようになりました。

歴史アラカルト♪

西郷さんは名前を次々に変えていった？！

西郷さんの本名は「隆永」だった！

「隆盛」の名は、もともと父の名だったのですが、明治2年に正三位を受けられることになった際、政府が書類に誤って、「隆盛」と父の名前を記してしまったのです。西郷は官位を辞退しますが、その際「隆盛」の名を使用せざるを得ず、以後は実名の「隆永」を使用したり、「隆盛」の名を使用したりしました。「隆盛」の名が定着するのは晩年になってからのことでした。

実名	通称名
天保12年元服	小吉
隆永	吉之助
	善兵衛
	吉兵衛
	三助
↓	菊池源吾
元治元年(1864)	大嶋三右衛門
武雄	大嶋吉之助
↓	西郷吉之助
慶応3年(1867)	
隆永	
明治2年(1869)	
隆盛又は隆永	
隆盛	

じげんりゅう の だち じげんりゅう 示現流と野太刀自顕流

薩摩の代表的剣法に示現流と野太刀自顕流があります。示現流(東郷示現流)が主として上級武士にたしなまれたのに対して、野太刀自顕流は主として下級武士にたしなまれました。野太刀自顕流は薬丸自顕流とも呼ばれています。

幕末に活躍した志士たちの多くが、自顕流をたしなんだ人たちでしたので、「明治維新は薬丸自顕流がたたきあげた」と言われているほどです。

8月「教員歴史講座」

小・中学校の先生方120名が、郷土学習に生かす鹿児島の歴史について講座を受講し、自顕流の体験もされました。



4月「追手門学院小学校ご来館」

大阪の追手門学院の創設者である高島鞆之助の誕生地が、維新ふるさと館の近くにあるため、毎年修学旅行で訪れています。今回は自顕流の体験を取り入れました。

ご利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 年中無休

◆維新体感ホール「維新への道」上演時刻

上演時刻	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
	9:15	10:05	10:50	11:35	12:20
	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
	13:05	13:55	14:35	15:35	16:30

交通案内

- JRかごしま中央駅から徒歩8分
- カゴシマシティビュー「維新ふるさと館前」下車
- 市電「高見橋」下車徒歩3分
- ◆ 駐車場 24台収容

入館料

	大人(高校生以上)	小人(小・中学生)
個人	300円	150円
団体	240円	120円
年間パスポート	600円	300円

※団体は20名以上

年間パスポート
がお得です！
2回分の料金で
年間何回でも
入館できます！